

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2024年7月21日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 禱		一 同
讃 美※	聖歌538「ただ主をあがめて」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖歌511「わが友、主イエスは」	一 同
教会学校		牧 師
讃 美	聖歌629「恐れなく近よれと」	一 同
聖書朗読	使徒行伝12:1-5	
奨 励	使徒行伝の福音(第39回)	牧 師
主 題	「絶体絶命に働く神」	
讃 美	聖歌580「祈りすれど」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖歌378「栄あれや」	一 同
祝 禱※		牧 師
来週の箇所	使徒行伝第13章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリ9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



【今週の歩み】

7/21(日) 聖日礼拝
/22(月)
/23(火)
/24(水)
/25(木) 10:祈会 13:ガレッジ集会
/26(金)
/27(土) 13-16子供オプハウス



【祈りの課題】

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「独善と排他性」

イエスを救い主と信じる信仰と共に教会が生まれて二千年、この信仰の理解を巡って様々な考えが正統を争ってきました。もしも一つの正しい信仰理解というものがあり、従って他は間違いであるのなら、もういい加減に結論が出てよさそうに思いますが、相変わらずです。これから同じことでしょう。ということは、信仰においては正しい理解は一つの正統として定まるものではなくて、異なった信仰理解が、互いに補い合うもの同士と謙虚に自覚することの中に、漂うかのようにあるものだという事とは違うのですか。
(藤木正三著「神の風景」p.245)

この点に関して私は一つの鮮明な思い出を持っている。学生時代の強烈な求道心に動かされて動き回っていた時のことだが、一時わたしは思弁的、観念的なキリスト教の教会に失望して禅寺を回っていたことがある。

さまざまなことを話し合った後、その禅僧は私に「キリスト教のようなもので人が救われるなんて妄想だよ」と言ったのである。私はその時どうしたわけかとても不愉快な思いをして、もう決して、その方向には足を向けるまいと決心したのである。(もちろん、そう決心したからといって、私は直ちにキリスト教の方に足を向けたというわけではない)。ただ私はその時、立場の異なるものや、反対するものに対して、どういう態度をとるのかということの中に、その宗教の本質や、その人の人間的センスが、案外表れるのではないだろうかと思っただけである。

おそらく、非難や折伏(しゃくぶく)を持って他を排撃し、自分の正当性を主張しようとする生き方に私はなじめなかったのだろう。主イエスは「土はひとりでに実を結ばせる」と言われたが(マルコ4:28)、本物の持つ自ずから香りを放ち花を咲かせる性格に、私の本来的な親和性が大きかったのだと思う。(藤木正三・工藤信夫共著「福音は届いていますか」p.154)